

みやぎSDGs Farm



みやぎSDGs Farm

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGs Farm」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。



詳しくはこちらから

賛同企業
募集中!!

[申し込み・問い合わせ]

河北新報社営業局

TEL. 022-211-1318

☑ koukoku@po.kahoku.co.jp



「SDGsってすごく身近なところにあるんだな。みやぎSDGs塾に参加して感じたことです。」

私は、「SDGsを意識して行動するもの」と思っている節がありました。とある日のSDGs塾で、「行動していることがSDGsの何かにあてはまるかも」と教わりました。そのように考えると日々の生活にSDGsは溢れていて、ちょっとした選択で結果が変わるのではと思うようになりました。

例えば、マイボトルの使用です。正直、毎日マイボトルを持参することは手間だなと思ってしまいます。コンビニでペットボトルを購入してしまうことも多いですが、

それでもペットボトルを購入したときは、必ず潰して捨てるようにしています。エコバッグを使用したり、仕事終わりには必ず電源をコンセントから抜くようになりました。こうした小さな行動でも、SDGsの一つであり、案外簡単なことで無自覚に取り組んでいることもあると思えました。

これからSDGsアンバサダーとして、SDGsの活動を発信するというよりは、「今していることもSDGsの一つだよ」と、無自覚でもSDGsに取り組んでいることを周りに伝え、身近さに気づいてもらえるよう活動していきます。

小さな気づきや行動が未来をつくるきっかけになることを信じ、周囲と一緒にその輪を広げていきたいです。

無自覚SDGs

国分東北 千田李奈さん



SDGsを聞いて、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。貧困問題の解決や環境保護など、「自分に何ができるのか」と戸惑う人が多いのではないのでしょうか。実は、SDGsは日常生活の中に多く潜んでおり、誰でも簡単に取り組むことができます。

私は大学のゼミ活動を通じて、身の回りのプラスチックの多さに疑問を感じ、脱プラスチック商品や食品ロス削減に貢献する商品を研究してきました。その中で出会ったのが「竹の歯ブラシ」です。

竹の歯ブラシは、竹を原料とし、ブラシ部分にはひまし樹脂や豚毛を使用しています。竹の歯ブラシにはプラスチックが一切使用されていません。そこで世界で年間36

竹歯ブラシから変えるSDGs

尚絅学院大学 佐藤翔太さん

億本廃棄される歯ブラシが竹の歯ブラシに変われば、SDGsに大きく貢献できると思います。私自身も竹の歯ブラシを使用していますが、使い心地はプラスチック製と変わらず、違和感を感じたことはありません。毎日竹の歯ブラシを使うことで、私は意識せずともSDGsへ貢献する大学生に進化することができました。

皆さんの周りにも様々なSDGsが潜んでいます。歯ブラシを変える、マイボトルを使う、賞味期限の近い商品から購入するなど、簡単なことからで良いのです。

皆さんも身近なSDGsを日常生活に取り入れ、SDGsがあなたの生活を当たり前にしていきませんか？

祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定！ 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.40



おめでとうござります!!



「こんな取り組みもしているんだ。私はみやぎ生協で内部広報動画の編集を担当

しています。職員の皆さんに向けた情報発信を通じて、長く動き続けられる職場づくりに貢献していきます。」

SDGsには8番の「働きがいも経済成長も」という目標があります。私自身、働き始めた頃は仕事に不安を感じることもありましたが、先輩や仲間を支えられながらここまで続けることができました。

生協で働くことの安心感、人の魅力がこれから入ってくる若い職員にも知ってもらいたい。そのために、私は内部広報動画を通じて、生協が行う様々な取り組みと、それに関わる職員さんの声を届けることで伝

生協で働く人を支えるSDGs

みやぎ生活協同組合 乙戸沙織さん

「ええ、いいです。」

例えば、生産者さんと生協職員のつながりを感じられる農産物や水産物の販促イベントなどを動画にして発信し「こんな仕事してみたい!」と思える環境づくりをサポートしたい。

職員一人ひとりが自分の仕事にやりがいと展望を持ち、安心して働けること。それは、組合員さんへより良いサービスを提供し、生協全体の持続可能な発展にもつながります。

働く人の未来を支えることも、SDGsの一環。これからも、職員が「生協で仕事を続けたい」と思えるような発信を続けていきたいと考えています。

